

和 光 学 園

経営方針

児童福祉法に基づく児童養護施設として、「児童憲章」並びに「児童の権利に関する条約」の基本理念を踏まえ、児童の最善の利益を実現するために児童の権利を擁護し、一人ひとりが自立した社会人として生きていくことができるよう「こころ（精神）」「からだ（体力）」「気持ち（「社会性」）」を養い支援していきます。

また、自立援助ホームは、児童養護施設退所児童等の自立生活援助や経済的精神的なサポートを行うアフターケア、地域定着支援等を推進します。

■ 和光学園

[施設入所]

■ 自立援助ホーム「ステップ」

[児童自立生活援助]

取り巻く環境

令和2年3月に策定された岩手県社会的養育推進計画が令和7年3月に改訂されました。児童虐待対応件数は増加を続けるものの、この5年間で施設入所児童数は大幅に減少していることから、施設において養育が必要とされる児童数は今後5年間でさらに減る計画となっています。適正な定員規模と、小規模化・地域分散化への対応は今後の入所児童数の推移も考慮に入れながら進めていくことになります。

子どもの権利条約の批准から30年が経過しました。昨年は、令和4年改正児童福祉法を受けて県内でも意見表明支援員が施設を定期的に訪問し、子どもの話を聴くという子どもの意見聴取の仕組みがはじまりました。まだ一部施設での実施ですが、順次、当園をはじめ各施設にも意見表明支援員の訪問が期待されます。

同じく改正児童福祉法により、社会的養育経験者等への支援の充実のために令和6年3月に子ども家庭庁から「社会的養護経験者等への支援に関するガイドライン」が発出されました。措置中及び措置解除後の自立支援、措置延長の活用のほか、児童自立生活援助事業の活用について盛り込まれており、ステップは期待に応えていく必要があります。

令和7年度【事業の重点項目】

1 安心・安全で豊かな生活をつくる

関係機関の協力のもとに取り組んでいる安全委員会を生活に根付かせ、子ども、職員ともに安心・安全を実感できるよう努めます。また、性教育委員会とメディア委員会の活動を定着させ、安全委員会を含めて和光学園における包括的な性教育の取り組みを推進します。

子どもの抱える課題の複雑化に対応するため、全職員が基本的な発達特性や愛着、トラウマの知識を深めながら、チームでアセスメントを繰り返し、子どもを理解するよう努めます。また、子どもとのやりとりを大切に、心地よさを感じられる関わりに努め、育ち・育ちあう豊かな生活を目指します。さらに、職員同士で、「望ましい養育」について意見交換を重ねます。

2 積極的な権利擁護と自立支援の充実

改訂される「けんりノート」や「和光学園生活ノート」を活用し、子どもと職員が一緒に自他の権利を確認し学び合います。

児童集会や苦情・意見箱、何でも相談はもちろんのこと、日常の関わりを通じて子どもの声を拾い、生活に反映させます。さらに、意見表明等支援事業の目的や方法について研修を重ねて理解に努めます。

「社会的養護経験者等への支援に関するガイドライン」を参考に、措置中からの自立支援と措置解除後の自立支援を充実させます。さらにステップにおいては、社会的養護自立支援拠点事業者等の関係機関と連携を図り、退居後の支援を充実します。

3 子育て支援と子ども若者支援、里親支援の推進

子育て短期支援事業契約市町との連絡会を継続し、施設機能の紹介や支援ニーズの把握に努めるとともに、子育て支援や困難を抱える若者を支援している関係者と積極的に連携します。

里親支援専門相談員が中心となり、児童相談所や里親支援センターと連携しながら、里親制度の普及啓発や里親に対する研修等に積極的に関与し、質の高い里親養育体制の整備に貢献します。

4 職員の確保と働きがいのある職場づくり

職員が安心して業務に入れるよう、日々の情報の共有を効率的に行い、チームで支援する意識を徹底します。さらに基幹的職員や専門職による日々のスーパーバイズに加え、外部のスーパーバイズの活用を継続します。

施設実習を積極的に受入れ、共に学ぶことで次世代の福祉人材育成と職員育成を行います。また、ホームページの更新、インターンシップや施設見学を積極的に受入れ、施設や自立援助ホームの職員の魅力について発信します。

5 持続可能で良質な養育環境の提供

改訂された県社会的養育推進計画や県とのあり方検討を踏まえて、小規模化や多機能化・高機能化に向けた検討を進めます。また、福祉サービス第三者評価を受審し、サービスの見直しと質の向上に努めます。

令和7年4月から、定員を40人に減じましたが、入所児童数は漸減傾向にあることから、今後も適正な定員と支援ニーズに応じた効率的な職員配置を検討していきます。

本体施設の居室等の備品などに破損が目立っているため、計画的な更新と修繕を行い快適な生活環境の提供に努めます。